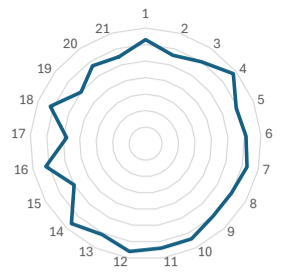


2024(令和6)年度 幼保連携型認定みょうとくこども園 自己評価シート		よくできている または◎ (× 4.0)	まあまあでき ているまたは○ (× 3.0)	ふまわりでき ているまたは△ (× 2.0)	ふまわらぬ または× (×0.5)	
<b>I 保育の計画性</b>						
1	園の教育理念や教育方針を理解し共感している	4	15	1	0	63.0
2	園の方針、園の考え方について園長や主任と話し合い保護者に説明できる	2	12	6	0	56.0
3	幼保連携型認定こども園教育・保育要領を理解し、幼児の姿や環境の構成、保育者とのかかわりなど具体的な事例を思い浮かべることができる	2	16	2	0	60.0
4	園の教育課程は、幼保連携型認定こども園教育・保育要領をふまえて園の教育理念・教育方針に従い編成している	9	10	1	0	68.0
5	1年間の子どもの成長を振り返り、教育課程を評価している	6	9	4	0	59.0
6	園の教育課程は、社会状況や幼児の実態、地域性などを考慮しながら必要に応じて見直しを行っている	4	13	3	0	61.0
7	指導計画は、幼児の興味や関心、これまでの生活や予想されるこれからの生活などを考慮し作成している	7	11	1	0	63.0
8	行事は幼児の生活上の意義を十分検討した上で指導計画に組み入れている	5	12	2	0	60.0
9	指導計画に基づいて、幼児が主体的に関わりたくなるような安全で清潔感のある環境構成をしている	3	14	3	0	60.0
10	楽しい雰囲気の中で、安心して遊び込めるように遊具や用具、素材など質・数量を配慮して環境を構成している	9	8	2	0	64.0
11	幼児の活動がより豊かになるように幼児の発想を柔軟に取り入れ、活動の展開に応じて環境の再編成をしている	6	12	2	0	64.0
12	幼児の発達や生活を見通し、季節の変化に応じた環境構成をしている	8	10	2	0	66.0
13	異年齢の乳幼児が自然に交流できるような環境構成をしている	7	9	3	0	61.0
14	自分の保育と評価・反省について、次の保育と計画に生かせるようにしている	6	14	0	0	66.0
15	お互いに保育を見せ合い、検討し、評価・反省を加え、幼児の生活と自らの保育につなげている	1	10	8	0	50.0
16	次週の子どもの姿の見通しを持つことができる。	3	16	1	0	62.0
17	お店ごっこから本物のおやつ作りへなど。	1	6	13	0	48.0
18	行事前の会議、園児降園後の話し合いを多く持った。	6	12	1	0	62.0
保育の計画でよく出来ていると思ったこと						2件
19	保育課程を良く踏まえてやっていくことが不足であった。	0	14	4	0	50.0
20	排泄指導	4	11	4	0	57.0
21	担当分野の理解不足	0	17	2	0	55.0
保育の計画でこれからの課題と思ったこと						2件

### I 保育の計画性

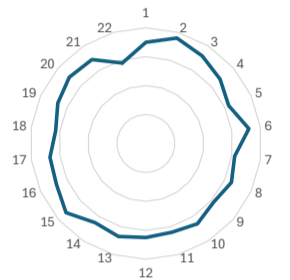


- 保育の計画でよく出来ていると思ったこと 2件
- 子どもの今の姿をよく観察していくよう心がけた。
  - 子ども達の声を拾いながら進めること。
- 保育の計画でこれからの課題と思ったこと 2件
- 保育者間で連携を行い、子どもの生活状況を伝え合った。
  - 職員間で共有し、より膨らませていくこと

保育の計画性について、自分の保育と評価・反省して次に生かせるように心がけている様子が見える。「よくできている」とは答えることができなくてもそこに自身の課題を把握できている表れであるとも理解できる。しかし設問15にある「お互いに保育を見せ合い…」といった評価し合う機会が必要に思われる。

<b>II 保育の在り方 3歳未満児への対応</b>						
1	朝の登園時は家庭からの連絡をもとに視診・触診をして、乳幼児の健康状態を確かめている	11	8	1	0	70.0
2	体調が悪そうなどときは静かに寝かせたり検温をするなど適切な処置を行い、すぐに家庭へ連絡している	16	4	0	0	76.0
3	保護者から健康状態などの申し出を受けるなど、乳幼児の健康情報を共有し、アレルギー、熱性痙攣、脱臼癖などの既往症について把握している	13	6	1	0	72.0
4	体重・身長などの測定を定期的に行い家庭に知らせると共にバランスの取れた発育が促されるよう配慮している	11	6	3	0	68.0
5	家庭と連絡を取りながら一人ひとりに合わせて離乳食の移行を行い、様々な食品に触れ、食への意欲を育てている	8	9	2	0	63.0
6	睡眠が充分にとれるような静かな環境を整え、午睡の状態(呼吸・顔色・嘔吐・汗)およびSIDS(乳幼児突然死症候群)のチェックをしている	12	8	0	0	72.0
7	一人ひとりの排泄間隔を把握し、その子の排泄のリズムに合わせて、オムツを交換したり、トイレに促している	5	12	3	0	62.0
8	乳幼児の話をよく聞いたり、言葉にならない思いやサイン、その姿の中にある心の動きを推察し、基本的欲求が十分満たされるよう配慮している	5	15	0	0	65.0
9	一人ひとりの乳幼児の発達課題について見通しをもって保育している	3	16	1	0	62.0
10	落ち着いた雰囲気の中で抱いたり語りかけたりして、乳幼児が人と関わりの楽しさや心地よさを味わえるようにしている	6	14	0	0	66.0
11	泣いたりぐずったりするサインを見逃さず、要求に応じた適切な対応をしている	7	12	0	0	64.0
12	乳幼児の心身の発達および生活の連続性に配慮し、好奇心や発達を促す環境を整えて保育している	5	15	0	0	65.0
13	自分を表現する力が十分でない子どもの気持ちをよく取り、安心感と自己肯定感がもてるように言葉がけをしている	7	13	0	0	67.0
14	禁止語を不必要に用いないようにしている	7	11	2	0	65.0
15	乳幼児期は身体的条件や生育環境などの違いにより、一人ひとり心身の発達に個人差が大きいことを理解し関わっている	13	7	0	0	73.0
16	保育者全員が情報を共有し、クラスに関係なく、その場にいた保育者が適切な言葉がけや対応をしている。	9	10	1	0	68.0
17	指導上配慮を必要とする乳幼児については、園の保育者全体で特によく話し合い、共通理解をもって、工夫し対応するようにしている	8	11	1	0	67.0
18	他クラスや異年齢の幼児たちと触れ合うようさまざまな工夫や保育形態に配慮している	4	15	1	0	63.0
19	園と家庭とのコミュニケーションを取っている。	7	13	0	0	67.0
20	その子に合った言葉がけ、体調管理をしている。	10	10	0	0	70.0
21	一人ひとりの欲求、要求になるべく答えるようにしている。	9	11	0	0	69.0
保育の在り方、3歳未満児への対応でよく出来ていると思ったこと						2件
22	禁止語「ダメよ」を不必要に言わない。	2	16	1	0	58.0
保育の在り方、3歳未満児への対応でこれからの課題と思ったこと						2件

### II 保育の在り方 3歳児未満への対応

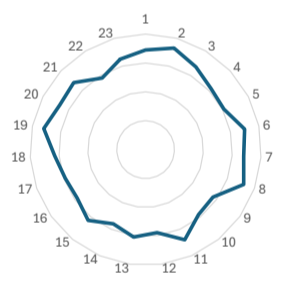


- 保育の在り方、3歳未満児への対応でよく出来ていると思ったこと 2件
- 保護者側からの育児や子どもに対する思いに耳を傾けるようにしていった。
  - 名前を呼ばれたら振り返ってあいさつをしたり言葉を交わしたりすること。温かく受け入れること。
- 保育の在り方、3歳未満児への対応でこれからの課題と思ったこと 2件
- 物事の善悪を肯定的に伝えていった。
  - 姿が怖くて泣かれてしまったときは距離を置くこと。

これらの設問にとても心がけていることがうかがえる。「よくできている」とは答えることができなくてもそこに自身の課題を把握できている表れであるとも理解できる。設問7「一人ひとりの排泄感覚を把握し、その子のリズムにあわせて…」など、それぞれにあわせて体調管理と配慮・対応することの難しさに向き合っ保育に取り組んでいる。

<b>III 保育の在り方 3歳以上児への対応</b>						
1	朝の登園時は特に視診を大切に幼児の体調が悪くないかを確かめている	10	9	1	0	69.0
2	体調が悪そうなどときは静かに寝かせたり検温をするなど適切な処置を行い、すぐに家庭へ連絡している	13	7	0	0	73.0
3	幼児の話をよく聞いたり、言葉にならない思いやサイン、その姿の中にある心の動きを推察し、基本的欲求が十分満たされるよう配慮している	8	11	1	0	67.0
4	一人の幼児をじっくりと見ながら見えない所で活動したり遊んでいる幼児についても、ある程度その活動の様子を推察することができる	3	16	1	0	62.0
5	個々の幼児の発達の姿や課題について見通しをもって理解できる	2	17	1	0	61.0
6	幼児一人ひとりを観察し、ありのままの姿を受け入れるようにしている	11	8	1	0	70.0
7	幼児との温かなやりとりやスキンシップを常に心がけている	9	10	1	0	68.0
8	幼児の話をよく聞くようにしている	12	8	0	0	72.0
9	“一人ひとり”と“みんな”の関係を常に考え、クラス集団をまとめている	1	15	4	0	57.0
10	幼児が遊びや活動を深めていくためのヒントやアイデアを提供している	1	16	3	0	58.0
11	幼児をほめたり、励ましたり、目当てをもたせるような言葉がけをしている	9	10	1	0	68.0
12	禁止、命令、行動を急がせたり、自信を失わせる言葉や態度はできるだけ控えている	4	12	3	0	58.0
13	幼児の家庭環境やこれまでの成育歴などを顧慮してかかわっている	2	17	1	0	61.0
14	障がい児が入園した時、個別の対応やクラスの子どもと共に育ち合える保育を積極的に進めるように考えている	2	14	3	0	56.0
15	クラスに関係なく、その場にいた保育者が適切な言葉がけや対応をしている。また情報を共有している。	8	9	2	0	63.0
16	指導上配慮を必要とする幼児については、園の保育者全体で特によく話し合い、共通理解をもって、工夫し対応するようにしている	2	16	1	0	58.0
17	他クラスや異年齢の幼児たちと触れ合うようさまざまな工夫や保育形態を取り入れている	1	17	2	0	59.0
18	その日あった出来事や指導上配慮を必要とする幼児について園全体で共通理解できて対応することができた。	3	17	0	0	63.0
19	他のクラスが来てみみんな仲間に入れて遊ぶことができた。	13	6	1	0	72.0
20	子ども達にスキンシップを大切に、言いたいことを「代弁」したり、「やってみよう」を常に大切に、優先させることができた。	7	13	0	0	67.0
保育の在り方、幼児への対応でよく出来ていると思ったこと						3件
21	担当児ばかりでなく、関わる幼児達の関係も広く見ていくように努める。	10	8	2	0	68.0
22	こども園の考え方を常に具体的に意識し、子どもや保護者に伝えていく。	2	14	4	0	58.0
23	職員同士の信頼関係を密接にしている。	8	9	3	0	65.0
保育の在り方、幼児への対応でこれからの課題と思ったこと						2件

### III 保育の在り方 3歳児以上児への対応

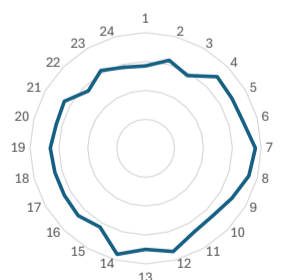


- 保育の在り方、幼児への対応でよく出来ていると思ったこと 3件
- 子どものやりたい気持ちを大切にするようにした。
  - 子ども達の声を聞きながら、活動に反映させている。
  - 自由遊びの時間など、他のクラスに行ったり、興味を持って見る姿も見られた。自由遊びでは、異年齢の関わりも多く見られた。
- 保育の在り方、幼児への対応でこれからの課題と思ったこと 2件
- こまめに連携をして子どもの変化に気付けるようにしていった。
  - 子ども同士が意見を交わし、共に深く合っていくこと。

これらの設問にとても心がけていることがうかがえる。「よくできている」とは答えることができなくてもそこに自身の課題を把握できている表れであるとも理解できる。設問9の「一人ひとりとみんなの関係を考えクラス集団をまとめる」については常に悩み続けていることであって、自由回答に「子どもの…」と「子ども達の…」などの意見からそれが推察できる。

<b>IV 保育者としての資質や能力・良識・適性</b>						
1	保育にたずさわる者として、専門知識や技能を身につける	2	15	2	0	57.0
2	保護者に対し、幼児のことや自分の保育のことを分かり易く話すことができ、保護者との信頼関係をつくることに努めている	4	15	1	0	63.0
3	保護者の子育ての悩み並びに他職員が仕事の手順を考え、能率よく行っている	0	18	2	0	58.0
4	保育者の人間性が子ども達に影響を与えることを自覚している	10	10	0	0	70.0
5	幼児や保護者との対応には、公平さを欠かないようにしている	9	11	0	0	69.0
6	朝と帰りのあいさつは明るく親しみを込めて行い、感謝の気持ちを言葉などで表している	10	10	0	0	70.0
7	園の消耗品や教材は節約して使い、私用に使っていない	16	4	0	0	76.0
8	服装、髪型、身だしなみなど、清潔感のあるものを心がけ、安全性にも気を付けている	14	6	0	0	74.0
9	教材、教具の管理、点検、園内外の清掃や整理整頓を実行している	9	11	0	0	69.0
10	締切りのある仕事や提出物の締切日、会議や打ち合わせの時間をきちんと守っている	7	12	1	0	66.0
11	他の意見を素直な気持ちで聞いたり、自分の意見を述べるができる	7	13	0	0	67.0
12	子どものこと、クラスの出来事などで必要なことは園長や主任に報告、連絡、相談している	14	6	0	0	74.0
13	当番や役割による仕事を理解し確実にしている	10	10	0	0	70.0
14	上司の指示、命令には責任をもって実行している	16	4	0	0	76.0
15	幼児や教育・保育に関する情報を日頃から得ようとしている	4	15	1	0	63.0
16	社会情勢や季節の変化などを感じ取る感受性を大切にしている	6	14	0	0	66.0
17	学期ごとの総括で自らを振り返り、仲間や先輩からの助言を次の保育に生かしている。	5	15	0	0	65.0
18	研修等を受けて、傾聴という姿勢がもてた。	7	11	2	0	65.0
19	分からないことは上司に質問し、支持してもらい、手本を見せてもらった。	7	12	1	0	66.0
保育者としての資質や能力・良識・適性でよく出来ていると思ったこと						2件
20	社会情勢にも関心を持つ。	5	14	1	0	64.0
21	保護者と言葉の面、態度などで誤解されないようにする。	6	13	1	0	65.0
22	特別支援などの研修が足りない。	1	14	5	0	56.0
23	家庭の問題については一線を引く必要がある。	3	16	1	0	62.0
24	保育者としての経験から相手に対して自己中心的になっている場合もあり、それが言えないでいる同僚もいると思われる。	1	16	3	0	58.0
保育者としての資質や能力・良識・適性でこれからの課題と思ったこと						1件

### IV 保育者としての資質や能力・良識・適性



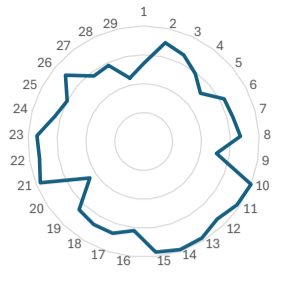
- 保育者としての資質や能力・良識・適性でよく出来ていると思ったこと 2件
- マネジメントの研修を受け、ファシリテーターとしての心得を学ぶことができた。
  - 園内研修の活動で、他の職員の保育を見る中で学びになることがあった。
- 保育者としての資質や能力・良識・適性でこれからの課題と思ったこと 1件
- 感染症に関する知識を身に付けて、活かしていくこと。

これらの設問にとても心がけていることがうかがえる。「よくできている」とは答えることができなくてもそこに自身の課題を把握できている表れであるとも理解できる。設問22「特別支援などの研修不足」は今後の課題としたい。設問24についても対処すべき事案である。自由回答に「他の職員の保育を見る中に学びがあった」など<保育の計画性>設問15に関連し、互いが評価し合う機会を検討したい。

<b>V 保護者への対応・守秘義務</b>							
1	一人ひとりの子どもについて、家庭での養育方針などを把握している	p.1	0	14	6	0	54.0

### V 保護者への対応・守秘義務

2024(令和6)年度 幼保連携型認定みょうとこども園 自己評価シート		1.よくできている または◎ (× 4.0)	2.まあまあでき ているまたは○ (× 3.0)	3.あまりできてい ないまたは△ (× 2.0)	4.まったくでき ていないまたは無回 答 (×0.5)	
2	ドキュメンテーションなどで、保育実践の内容や意図・クラスや子どもの様子を写真やイラストなどを活用して分かり易く伝える工夫を	10	10	0	0	70.0
3	個々の子どもの様子は、直接保護者と話をしたり、連絡帳、電話などを使って伝え合っている	7	12	1	0	66.0
4	保育参観や保護者面談を定期的に行い、子どもについて保育や家庭でのあり方について共通理解を得るようにしている	3	13	4	0	59.0
5	定期的にアンケート等にて保護者の要望を聞き、子どもにとってより良い環境づくりに努めている	0	15	3	1	51.5
6	保護者との情報交換の内容を必要に応じて記録している	5	13	2	0	63.0
7	子育てや就労を支えるために、保護者の気持ちに配慮しながら接するように努めている	5	14	1	0	64.0
8	保護者らの様々な訴え、要望、意見については安易に受けたり、断ったり、無視したりしないで、園長や主任等に報告や相談をしている	8	11	1	0	67.0
9	必要な場合は自園の苦情解決システムについて保護者に説明できる	3	5	12	0	51.0
10	教職員や園の批判を軽はずみにしたり、プライバシーについて他へ漏らしていない	20	0	0	0	80.0
11	秘密情報(保護者・園児等に関する個人情報および園の運営上の情報、保育技術・保育計画等の情報)については園長の許可なく使用、開示	18	2	0	0	78.0
12	秘密情報の記録が破損、改ざりされないように管理している	14	6	0	0	74.0
13	秘密情報の帰属は園または法人にある事を認識し、書類、電子データは持ち帰らないようにし、どうしても必要な場合は園長の許可を得	18	2	0	0	78.0
14	秘密情報の書類、電子データのコピーは園長の承認を得た物のみ、必要最小限にし、必要が無くなった場合は適切に処分している	19	1	0	0	79.0
15	秘密情報について新たに知り得たことについては、直ちに園長に報告している	17	3	0	0	77.0
16	正しい日本語、丁寧な言葉と敬語を用いて語りかけ、相手の話も落ち着いてしっかりと聞いている	6	12	1	0	62.0
17	親しくなったからといって、友達同士のよう話をしていない	8	11	1	0	67.0
18	電話では簡潔に要領よく対話することを心がけている	7	13	0	0	67.0
19	保護者からの依頼や伝言等については、メモを取るなどきちんと対応している	8	9	3	0	65.0
20	長期の欠席や入院等の場合には、見舞ったり、園やクラスの様子を伝えたりしている	1	8	8	2	45.0
21	保護者の国籍、思想、宗教により、また子どもの性差、障害、個性差によって区別、差別をしていない	17	3	0	0	77.0
22	保護者からのクレームがあった場合は、まず謙虚にその話を聞き、園長に連絡、報告、相談している	13	7	0	0	73.0
23	元氣にあいさつが言えたこと。	14	6	0	0	74.0
24	延長保育で担当児の親との会話ができ、不安に思っていることなど上司や園長に伝達できた。	8	8	4	0	64.0
25	ノートだけでなく、電話や直接話をするようにした。	5	12	2	0	60.0
26	毎日の子どもの体調チェック。	11	9	0	0	71.0
保護者への対応でよく出来ていると思ったこと						3件
27	1日の子ども達の様子の連絡をこまめに行う。	3	11	6	0	57.0
28	ノートだけでなく、クラス便り、写真でもっと園の様子を伝えていく。	4	10	6	0	58.0
29	保育参観の回数を増やす。	0	5	15	0	45.0
保護者への対応でこれからの課題と思ったこと						2件



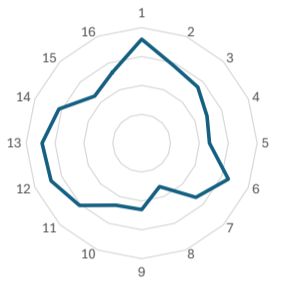
保護者への対応でよく出来ていると思ったこと 3件  
 ○ 細かな変化にも保護者と話し、傾聴するようにした。  
 ○ 保護者からの相談があったときは親身になって傾聴している。  
 ○ 受け入れのだけでなく、戸外や室内で遊んでいる時にも登降園している人に挨拶をするようにした。

保護者への対応でこれからの課題と思ったこと 2件  
 ○ 保護者とのやりとりで不信感を持たないようにすること。  
 ○ ドキュメンテーション(園内掲示、コドモン配信)などを用いて園での様子を伝えられていると思う。

個人情報等の秘密情報の取扱いについて特に気を付けていることがうかがえる。また保護者に不信感を与えることがないような態度や言動に注意を払っていることも分かる。一方で設問20の長期欠席園児に対する対応について(見舞うことはできないが)、園やクラスの様子を伝えることは当児とその保護者の安心を得るために必要なこととして今後の検討課題としたい。

VI 地域の自然や社会とのかかわり		1.よくできている または◎ (× 4.0)	2.まあまあでき ているまたは○ (× 3.0)	3.あまりできてい ないまたは△ (× 2.0)	4.まったくでき ていないまたは無回 答 (×0.5)	
1	地域の人々と親しくあいさつや会話を交わしている	12	8	0	0	72.0
2	地域の自然や他の機関を指導計画の中で位置づけて活用している	1	16	3	0	58.0
3	子どもの医療や保健に関する問題および地域住民から受けた子育て相談の内容について、相談および連絡先を把握している	1	13	6	0	55.0
4	実習生を受け入れるときは、意義や方針を理解し、指導的立場で接している	2	10	5	2	49.0
5	中高生の保育体験、ボランティアを受け入れるときは、その目的や意義を理解・確認している	3	8	5	2	47.0
6	園の保育内容が小学校以降の生活や学習の基盤の育成につながることを理解している	9	9	1	0	65.0
7	小学校の教育内容について理解するよう努めている	4	9	5	0	53.0
8	小学生が遊びに来ることのできる場(行事等を含む)を設けている	0	4	9	5	32.5
9	卒園した子ども達の情報を得るようにしている	0	10	8	0	46.0
10	小学校が園での子どもの育ちについて、どのような情報を必要としているか理解するように努めている	1	10	6	1	46.5
11	雪遊びや畑で収穫した野菜での調理体験など、地域の気候を生かした保育を実践している	6	11	2	0	61.0
12	園周辺の自然環境や公園などを積極的に利用している	9	10	1	0	68.0
13	あいさつ	12	7	0	0	69.0
14	未就園児との交流	6	10	4	0	62.0
地域の自然や社会とのかかわりでよく出来ていると思ったこと						1件
15	支援センターに来れない人への支援が十分ではない	1	10	6	0	46.0
16	診療所等の専門機関の連絡先(保健師、栄養士との連携)	2	13	3	0	53.0
地域の自然や社会とのかかわりでこれからの課題と思ったこと						1件

VI 地域の自然や社会とのかかわり

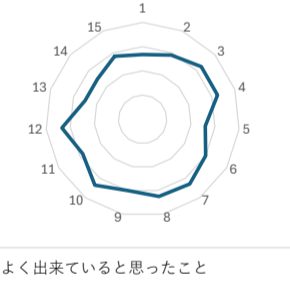


地域の自然や社会とのかかわりでよく出来ていると思ったこと 1件  
 ○ 散歩に行き、ゴミが落ちていたり拾うようにしている。  
 地域の自然や社会とのかかわりでこれからの課題と思ったこと 1件  
 ○ 年長以外のクラスの地域の方との交流。

地域社会とのかかわり方について大きな課題を感じる。地域における児童福祉施設としての役割は理解しているけれど、日常受入園児に対する教育保育業務に忙殺され、設問9,卒園児についての情報は積極的に得ることはできず、設問15,支援センターに来ることができない人への支援などにかかわろうとする余裕はないように思える。今後、これらに配慮できる余裕ある業務運営が必要と思う。

VII 保育者の専門性に関する研修・研究への意欲・態度		1.よくできている または◎ (× 4.0)	2.まあまあでき ているまたは○ (× 3.0)	3.あまりできてい ないまたは△ (× 2.0)	4.まったくでき ていないまたは無回 答 (×0.5)	
1	研究会や研究会には自己課題をもって参加し、事前にその内容を確認したり自分なりの考えをまとめている	2	11	6	1	53.5
2	自分の保育については自己課題をもって計画と反省を行うとともに、保育のあり方や悩みについて他保育者や主任、園長と話し合っている	2	14	4	0	58.0
3	園の玩具や教材についてその特徴や基本的な使い方を知っている	6	13	1	0	65.0
4	園の玩具や教材についてどんな使い方をするのか、どのような使い方が危険か予測できる	5	15	0	0	65.0
5	園舎の構造(平屋、2階建て)や保育室、遊戯室の位置・大きさがどのような教育的意味をもつか理解している	0	12	8	0	52.0
6	園庭や田畑、砂場などの位置、広さがどのような教育的意味をもつか理解し、保育に生かしている	4	12	4	0	60.0
7	子どもを取り巻く様々な状況について、背景・原因・実態はどうであるか興味・関心を持っている	6	14	0	0	66.0
8	アレルギー・自立の遅れなど、最近多く見られる問題について興味・関心を持っている	6	13	1	0	65.0
9	幼保小連携の意義やあり方について興味・関心を持っている	4	12	4	0	60.0
10	子ども達の安心・安全に関する危機管理について興味・関心を持っている	7	13	0	0	67.0
11	保育の専門知識や技能の他に趣味や読書・ボランティア活動にも関心がある	2	13	5	0	57.0
12	職員会議や研究会などで子ども達について話し合いができた。	7	13	0	0	67.0
研修・研究でよく出来ていると思ったこと						1件
13	外部研修への参加、研究発表が少ない。	1	8	11	0	50.0
14	研究会の時間が足りない。(現在の保育の中での時間のやりとりが難しい)	0	10	10	0	50.0
15	こども園職員と支援センター職員の話し合い	2	13	5	0	57.0
研修・研究でこれからの課題と思ったこと						1件

VII 保育者の専門性に関する研修・研究への意欲・態度

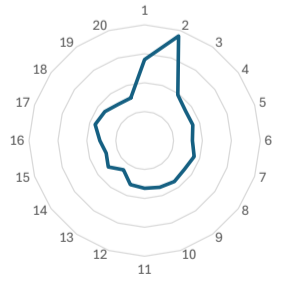


研修・研究でよく出来ていると思ったこと 1件  
 ○ 研修のグループワークで自分から意見を言っている。  
 研修・研究でこれからの課題と思ったこと 1件  
 ○ 研修で学んだことをプレゼンする時間があつたらよい。

当園では外部の研究会や会議に出席した時、簡潔に研修報告をまとめて提出し職員間で閲覧し内容を共有していただいている。基本的に研修・学習意欲は高いと感じられ、設問13,14,に回答されているようにさらに学びの機会を得たいと思っているし、自由回答にあるように研修報告を閲覧ではなく直接プレゼンしたいという意見もある。さらなる研修のあり方を模索していきたい。

VIII 地域における子育て支援		1.よくできている または◎ (× 4.0)	2.まあまあでき ているまたは○ (× 3.0)	3.あまりできてい ないまたは△ (× 2.0)	4.まったくでき ていないまたは無回 答 (×0.5)	
1	自園の子育て支援事業について理解し、利用者にはパンフレットやおたよりで分かり易く説明できる	2	11	7	2	56.0
2	親しみやすい雰囲気や心掛け、利用者には積極的に声をかけている	11	10	1	0	76.0
3	子どもが自分で遊びを考え出して主体性を発揮できる環境を作り、子どもの支援ができる場をつくっている	4	7	1	0	39.0
4	講座等での子育ての学習の機会を設けて、親の支援ができる場をつくっている	2	7	3	0	35.0
5	利用者同士(親同士、子ども同士)の関係が作りやすいよう配慮して、遊びや場の設定をしている	3	7	1	0	35.0
6	どの利用者にも公平に接している	6	3	0	0	33.0
7	利用者同士(親同士、子ども同士)の仲間づくりを促し、場の全体に気を配っている	6	4	0	0	36.0
8	価値観、経験、力量などの利用者の多様性を受け入れ、それに合わせた対応をしている	4	6	0	0	34.0
9	利用者が肯定的な親子関係を築くことができるように、肯定的に働きかけている	5	5	0	0	35.0
10	課題がある親子に気付き、利用者の気軽な相談を大切に受け止めている	4	6	0	0	34.0
11	専門的な言葉を極力使わずに、日常的な言葉で分かり易く伝えている	3	7	0	0	33.0
12	保護者などから問い合わせがあった場合に、自園または地域の子育て資源に関する情報について説明できる	2	8	0	0	32.0
13	対応が難しいケースの場合に連携すべき専門機関を知っている	0	7	2	0	25.0
14	魅力的な活動、居心地の良い場を維持するために現状の課題や今後の運営について話し合っている	1	9	0	0	31.0
15	地域の子育て支援ニーズを把握し、地域に自園の子育て支援事業を紹介している	1	6	3	0	28.0
16	講座準備等の業務が円滑に進むよう、協力し合っている	2	7	1	0	31.0
17	安心して教時間過ごすことができ、家庭的な雰囲気があった。	6	4	0	0	36.0
子育て支援でよく出来ていると思ったこと (支援センター事業担当者)						0件
18	周知度を高めしていく。	4	6	0	0	34.0
19	午睡中や雨天時の遊び場所	4	5	0	0	31.0
20	こども園職員と支援センター職員の話し合い	2	7	1	0	31.0
子育て支援でこれからの課題と思ったこと (支援センター事業担当者)						0件

VIII 地域における子育て支援



子育て支援でよく出来ていると思ったこと (支援センター事業担当者) 0件  
 子育て支援でこれからの課題と思ったこと (支援センター事業担当者) 0件

VIIIの設問群についてはこども園職員は任意回答、支援センター職員を中心とした設問としたため、グラフエリアは小さくなっている。設問1,子育て支援事業について利用者に対して説明できるか、設問4,子育て講座などを設けての親の支援、設問15,地域の子育て支援ニーズの把握などが課題と思われる。

自己評価シート集計の総評

昨今こども園と保育教諭に求められる要素や資質・専門性は年々変化して深化・高度化または多岐にわたっている。これらができる限り設問にあげ、職員共通理解の下で自己評価していただいた結果、とても率直に真摯に自身を客観的で多角的な評価を得ることができたと思う。「よくできている」とは回答することができなくてもそこに自身の課題を把握できている表れであるとも理解でき、今後これらの課題と向き合ったそれぞれの業務改善となり、資質の向上につながることを期待したい。設問群VI,VIIIの地域とのかかわり方については各職員で対応できることよりもむしろ、園としての対応によるものが大きく、それによって職員の回答もより肯定的なものになると思われる。これらの設問と回答を踏まえ職員と園が結果を共有して話し合い、さらに職員個人の課題と当園の業務課題を模索し、解決に向けて改善努力していきたい。